

岩手県で学生が復興支援活動を行ってきました！！

東日本大震災で大きな被害を受けた岩手県沿岸部で、本学の学生たちがボランティアとして復興支援活動を行ってきました。

学生たちが参加したのは、「NPO 法人いわて GINGA-NET プロジェクト」が実施しているボランティア活動です。牡蠣や昆布養殖の漁業支援をはじめ、仮設住宅内でお茶会を開いて地域住民と触れ合ったり、子どもたちの遊び場づくりや学習支援を行いました。

参加学生は 49 名。9 月 11 日に高知を出発し 18 日に帰ってくる「前半組」と、9 月 16 日から 26 日の期間に派遣される「後半組」の 2 班に分かれて参加。支援活動を通じて多くの学びを得るとともに、被災地の現状を目の当たりにし、被災された方々の話を聞くことで東日本大震災を身近なものとして感じることができました。

今回の体験を大学で学ぶ専門分野に生かすとともに、今後の防災活動にも役立ってくれるものと期待しています。



3. 11 以前は住宅が密集していた市街地を見る学生たち（岩手県大槌町）



町長を始め多くの職員が犠牲になった大槌町役場。



200 名以上が犠牲になったと言われる「釜石の悲劇」鵜住居地区防災センターの

祭壇で黙とうする学生たち。



牡蠣の養殖の作業を手伝う。



出荷する昆布の袋詰め作業。



陸前高田市での学習支援の一コマ。



菜の花プロジェクト。来年にはきれいな菜の花畑が見られることでしょう。



トラクターを運転する。この学生さんは「今まで来たボランティアの中で一番運転が上手」と誉められたとのこと。



ミーティングの様子。こうして距離感が縮まっていきます。



「前半組」と「後半組」の合同記念撮影。

大きな学びを得た復興支援活動でした。
今回岩手県への派遣にご支援をいただいた方々、受け入れをしていただいた岩手県の皆様に感謝申し上げます。